

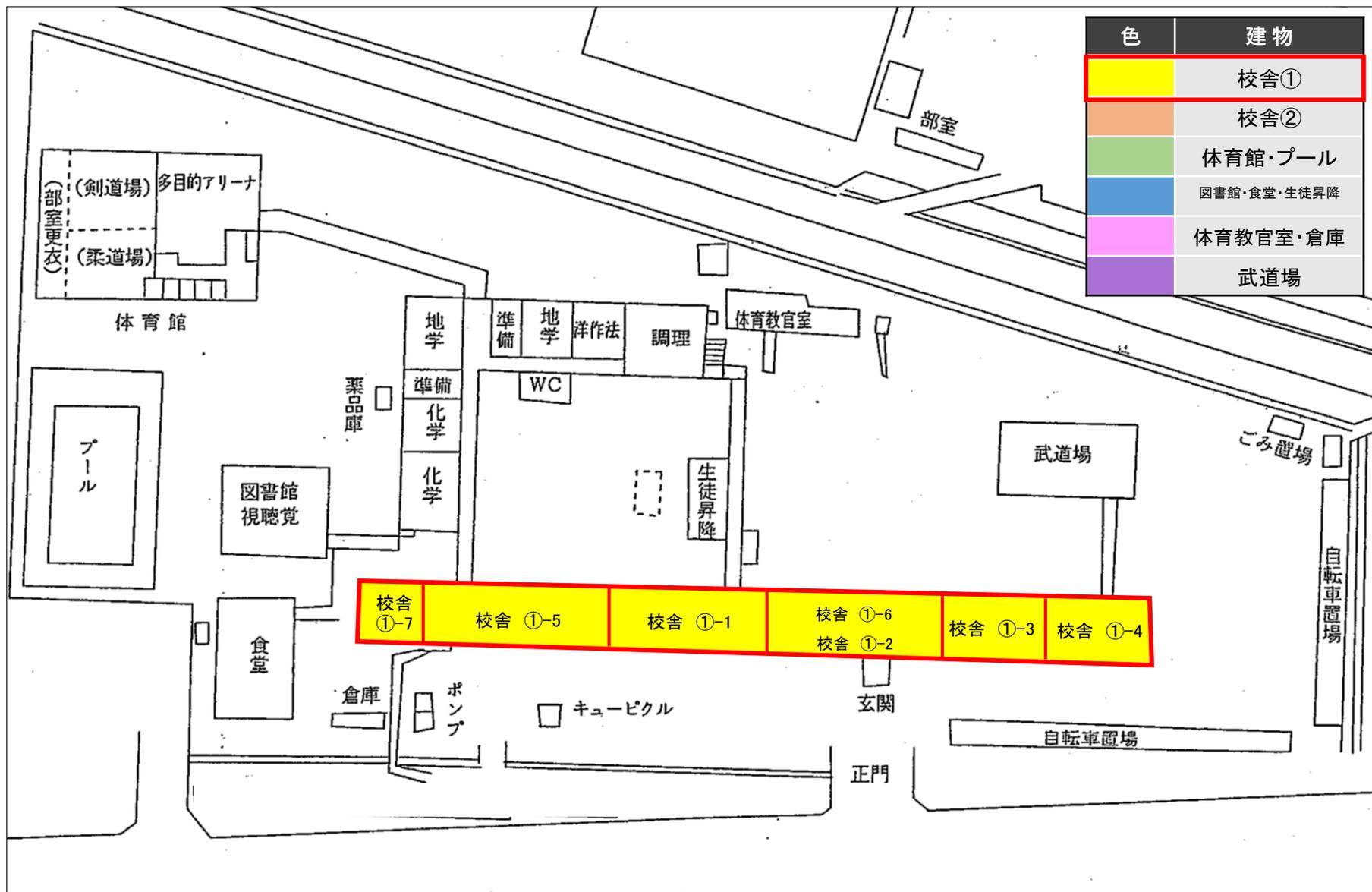
第4回
福岡県立山田高等学校跡地利活用推進協議会
～校舎利活用の可能性について～

平成30年5月15日(火)

地域活性推進課 地域活性推進係

福岡県立山田高等学校建物配置図

資料15



① 福岡県立山田高等学校校舎	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎①-1	3階	鉄筋コンクリート	S38.01	455㎡	55年	旧耐震基準
	校舎①-2	3階	鉄筋コンクリート	S39.02	555㎡	54年	旧耐震基準
	校舎①-3	3階	鉄筋コンクリート	S39.12	364㎡	53年	旧耐震基準
	校舎①-4	3階	鉄筋コンクリート	S42.03	853㎡	51年	旧耐震基準
	校舎①-5	3階	鉄筋コンクリート	S43.06	1,159㎡	49年	旧耐震基準
	校舎①-6	3階	鉄筋コンクリート	S44.02	410㎡	49年	旧耐震基準
	校舎①-7	3階	鉄筋コンクリート	S45.03	273㎡	48年	旧耐震基準

※ 1981年(昭和56年)に耐震基準が大きく改正され、新耐震基準となった。(H30.5.15現在)
 旧基準の『震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しないような構造基準』との規定は、新基準で『震度6強～7程度の地震でも建物が倒壊しない構造基準』と変更された。



玄関前屋根



玄関前屋根



校舎1階廊下



天井板崩落



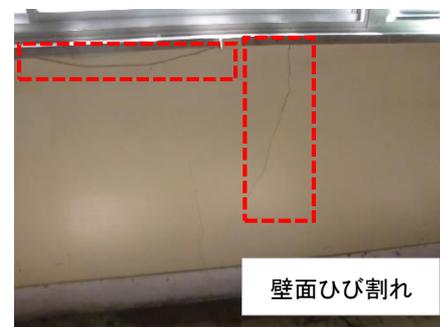
校長室
クロス剥がれ



応接室
クロス剥がれ



床材の腐食



壁面ひび割れ



警備室



床板陥没



天井梁剥離



教室床面雨漏

校舎①部分においては1階部分の部屋の劣化が激しかった。校長室や応接室、警備室などは床面が浮き上がっている箇所、床板が陥没している箇所が存在し、天井板の崩落等も確認された。廊下部分は浸水が原因で全体的に泥が堆積していた。2階部分においては比較的綺麗な教室もあったが、教室内での雨漏りや天井梁の剥離が確認された箇所もあった。



天井雨漏



教室床雨漏



天井雨漏



2階会議室



2階会議室



天井板剥離



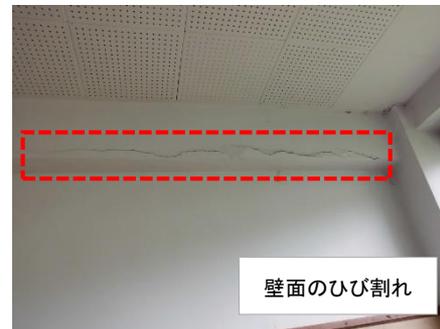
天井梁剥離



3階美術室



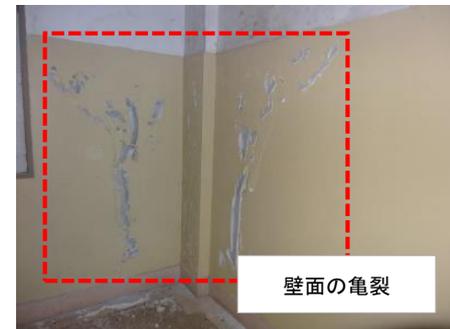
床面の劣化



壁面のひび割れ



2F~3F 階段
天井亀裂

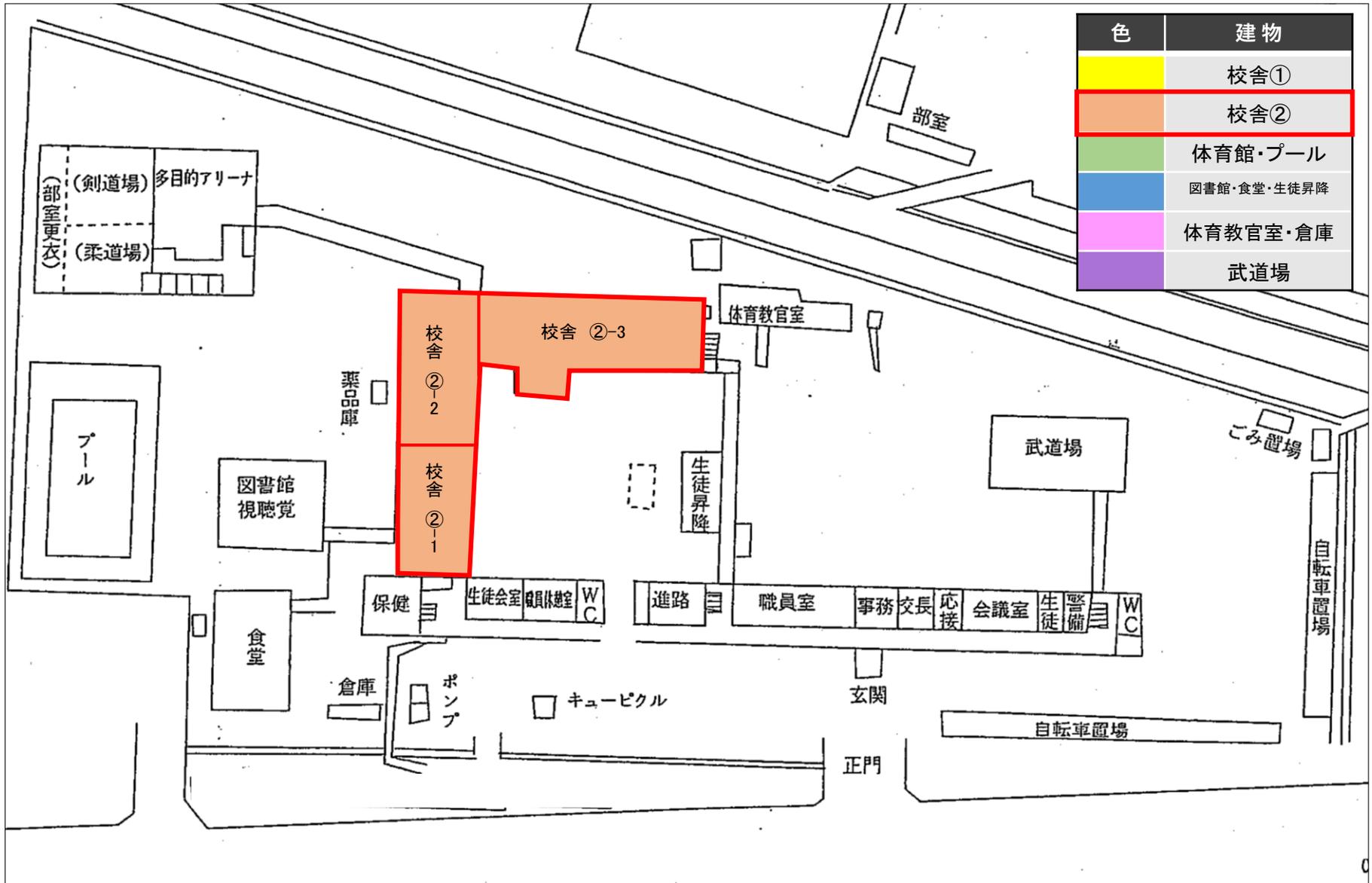


壁面の亀裂

校舎①の2階、3階部分で特に劣化が激しかったのは校舎東端の会議室(2階)とその真上の部屋にあたる美術室である。会議室部分は雨漏りによる浸水で床材が腐食し、全て浮き上がっていた。天井部分においても天井板やモルタルが剥離し崩落している箇所が多数あった。3階美術室も同様に雨漏りが原因で床材が剥がれ天井も崩落していた。2階から3階に昇る階段には天井と壁面に大きな亀裂が確認された。

福岡県立山田高等学校建物配置図

資料15



② 福岡県立山田高等学校校舎	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎②-1	3階	鉄筋コンクリート	S45.03	692㎡	48年	旧耐震基準
	校舎②-2	3階	鉄筋コンクリート	S45.03	1,005㎡	48年	旧耐震基準
	校舎②-3	3階	鉄筋コンクリート	S47.03	1,375㎡	46年	旧耐震基準

(H30.5.15現在)

※ 1981年(昭和56年)に耐震基準が大きく改正され、新耐震基準となった。
 旧基準の『震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しないような構造基準』との規定は、新基準で『震度6強～7程度の地震でも建物が倒壊しない構造基準』と変更された。



校舎①と②の境



コンクリート剥離



コンクリート剥離



コンクリート剥離



窓ガラス破損箇所



窓ガラス破損箇所



浸水跡



窓ガラス破損箇所



廊下窓ガラス割れ



和作法室天井板

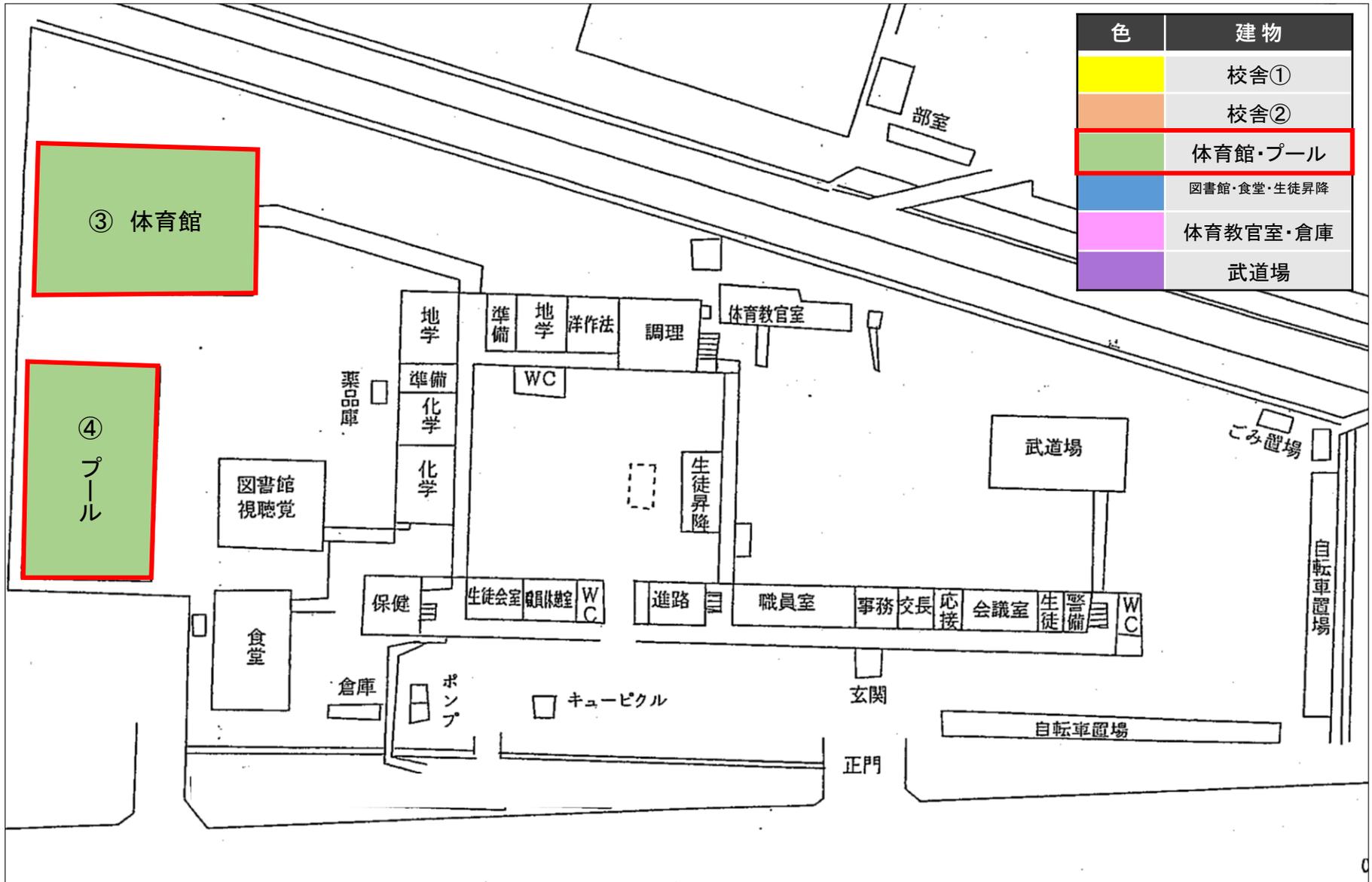


音楽室



音楽室

校舎②は校舎①との境の部分でコンクリートが激しく崩落していた。美術室との境の部分でも漏水とコンクリートの剥離が確認された。校舎南側の教室部分は比較的綺麗であったが窓ガラスが割れていることもありガラスが散乱している状況であった。和作法室や書道室では畳が雨漏りによって損傷しており天井板も崩落している箇所が多かった。



③ 体育館	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	屋内運動場	2階	鉄筋コンクリート	H01.02	2,369㎡	29年	新耐震基準

④ プール	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	屋内運動場	2階	鉄筋コンクリート	S59.03	203㎡	34年	新耐震基準

(H30.5.15現在)

※ 1981年(昭和56年)に耐震基準が大きく改正され、新耐震基準となった。
 旧基準の『震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しないような構造基準』との規定は、新基準で『震度6強～7程度の地震でも建物が倒壊しない構造基準』と変更された。



体育館内部



体育館内部



体育館内部



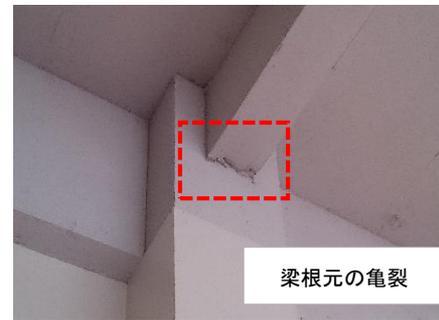
体育館内部



1階下駄箱



多目的アリーナ
雨漏跡



梁根元の亀裂



多目的アリーナ
梁のたわみ



プール外観



プール壁面

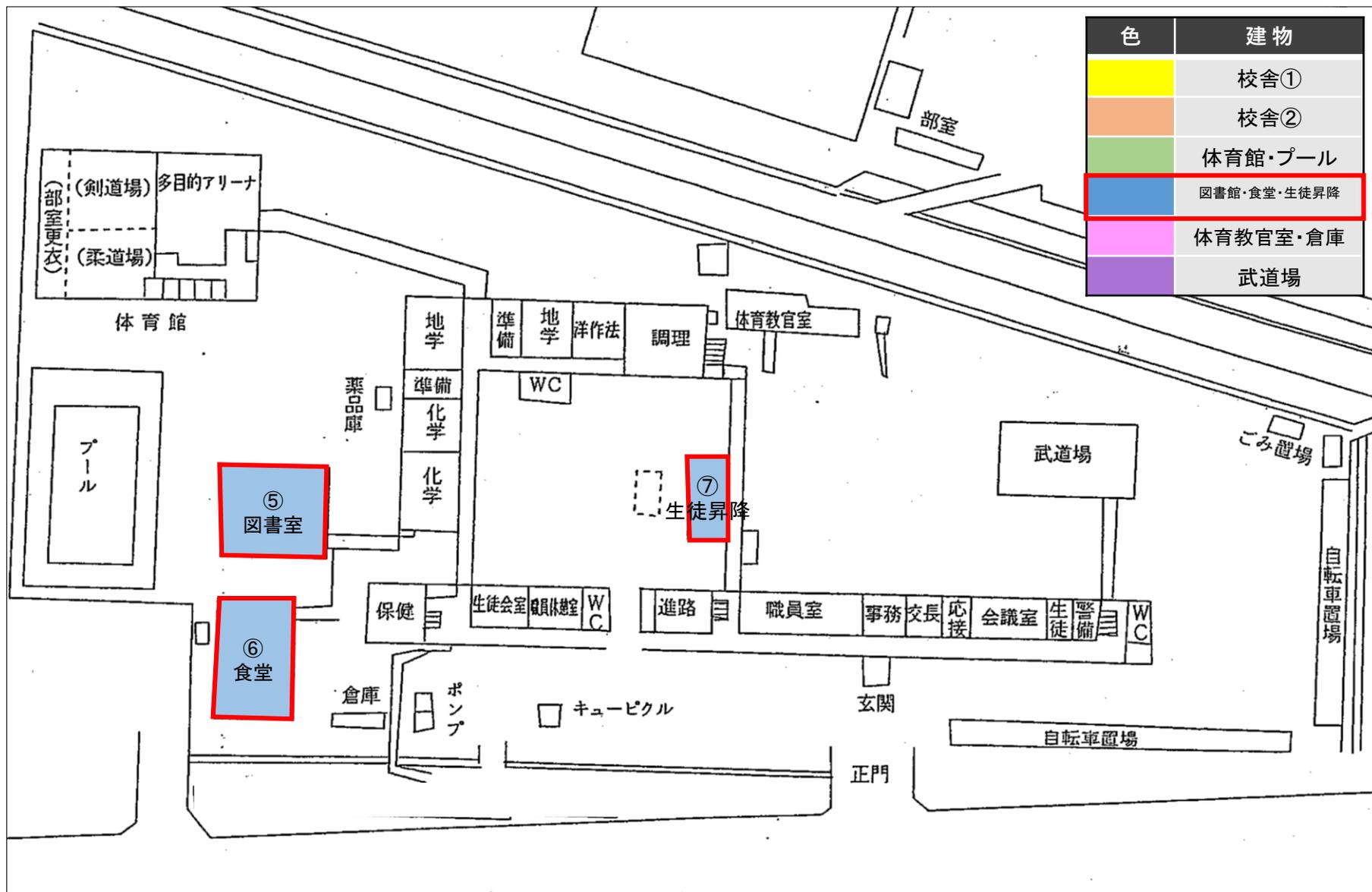


プール天井



プール

体育館は他の場所に比べて比較的綺麗な印象であった。しかし、1階部分には雨漏りの跡が見られた他、2階部分を支える梁が湾曲し根元部分に亀裂が入っている箇所も見受けられた。プールに関しては壁面塗装の剥がれや天井の剥離などが見られ、街路灯が腐食し倒れた状態で置かれていた。



⑤ 図書室	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎	2階	鉄筋コンクリート	S50.01	607㎡	43年	旧耐震基準

⑥ 食堂	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎	1階	鉄骨その他造	S53.01	279㎡	40年	旧耐震基準

⑦ 生徒昇降	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎	1階	鉄筋コンクリート	S44.03	99㎡	49年	旧耐震基準

(H30.5.15現在)

※ 1981年(昭和56年)に耐震基準が大きく改正され、新耐震基準となった。

旧基準の『震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しないような構造基準』との規定は、新基準で『震度6強～7程度の地震でも建物が倒壊しない構造基準』と変更された。



図書室外壁



図書室外壁



図書室外壁



図書館内部



図書室内部



食堂外観



食堂屋根



食堂天井



食堂調理室



食堂調理室

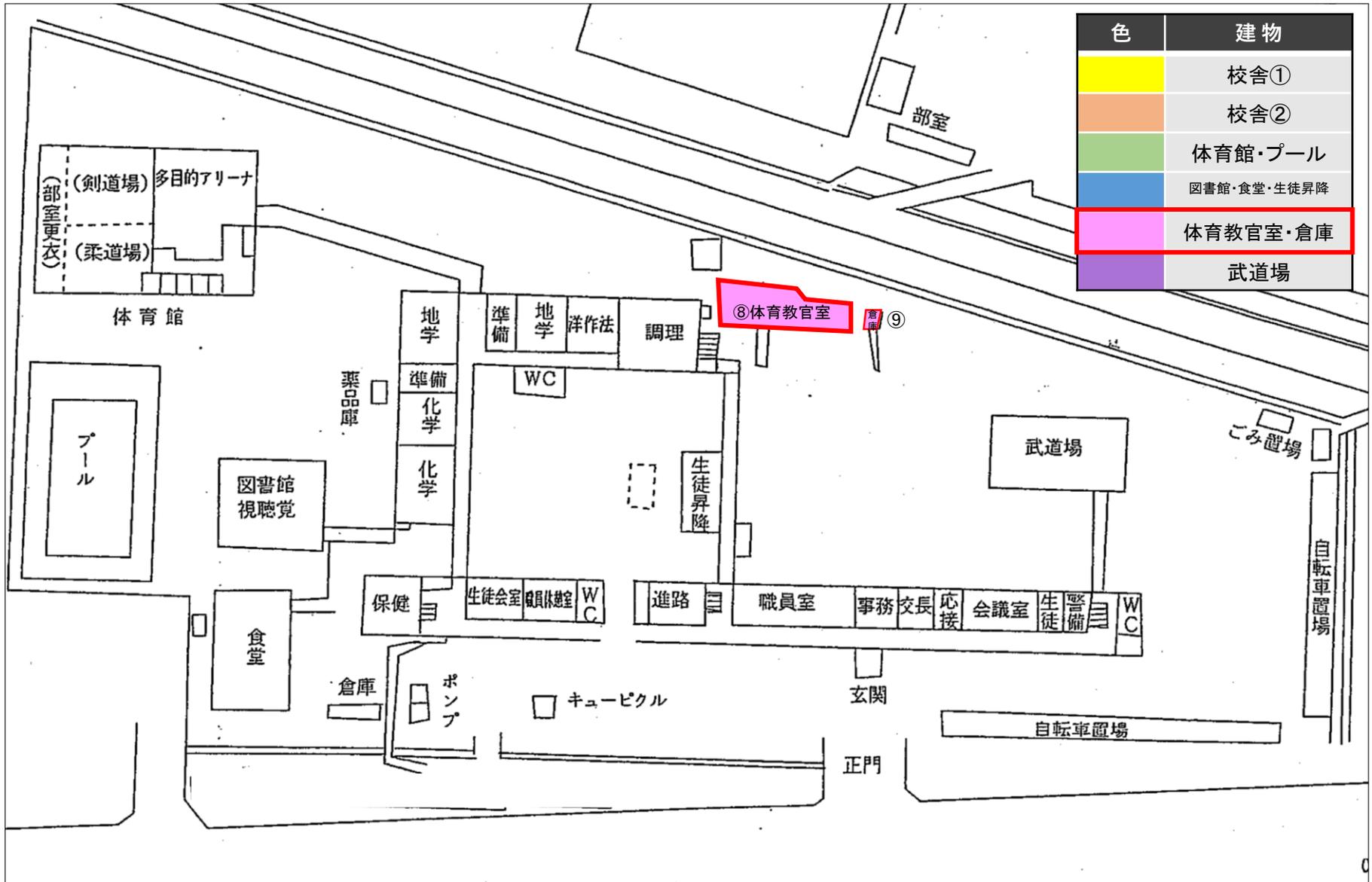


天井板落下



生徒昇降
防水シート剥れ

図書室、視聴覚室は比較的綺麗であったが多少は雨漏りの跡などが見られた。
 食堂は調理器具がそのまま残されており、天井板が落下している箇所が見られた。
 生徒昇降口には立ち入っていないが、校舎から屋根を見ると防水シートが剥がれた状態であった。

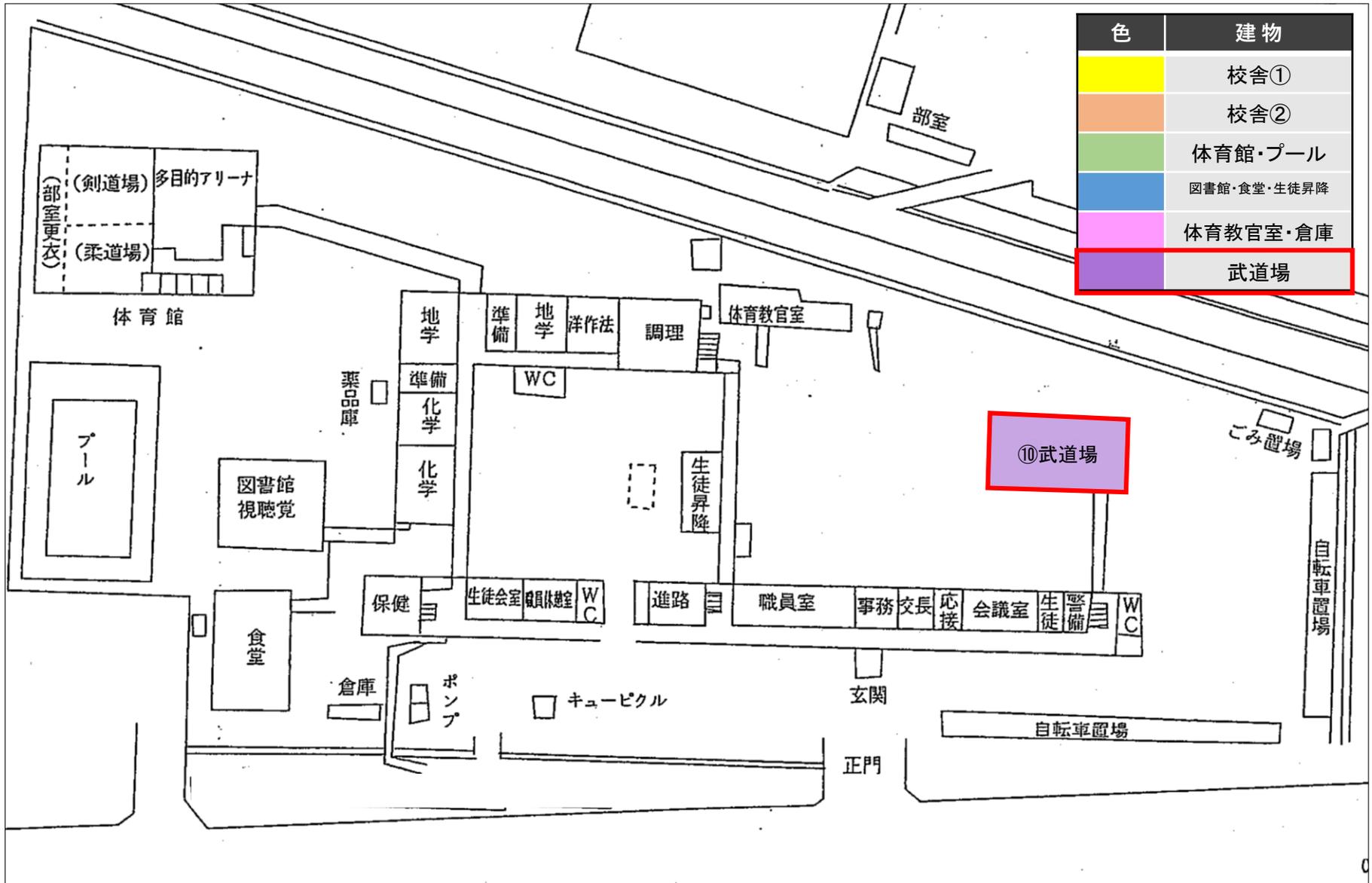


⑧ 体育教官室	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎	1階	鉄骨その他造	S56.02	136m ²	37年	旧耐震基準

⑨ 倉庫	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	校舎	1階	鉄骨その他造	S47.01	21m ²	46年	旧耐震基準

(H30.5.15現在)





⑩ 武道場	施設区分	階数	構造区分	建築年	保有面積	経過年数	耐震基準
	屋内運動場	2階	鉄骨その他造	S48.02	561m ²	45年	旧耐震基準
	部室	2階	鉄骨その他造	S48.02	24m ²	45年	旧耐震基準

(H30.5.15現在)

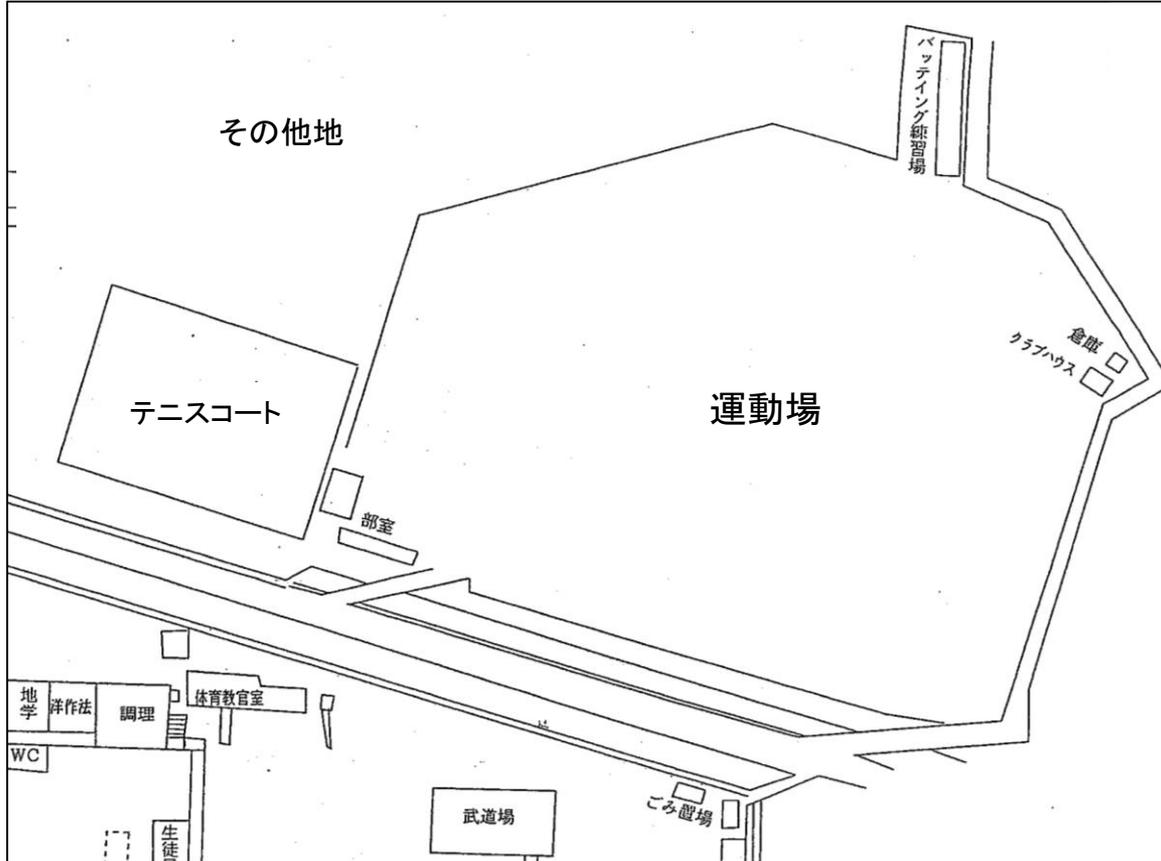
※ 1981年(昭和56年)に耐震基準が大きく改正され、新耐震基準となった。

旧基準の『震度5強程度の揺れでも建物が倒壊しないような構造基準』との規定は、新基準で『震度6強～7程度の地震でも建物が倒壊しない構造基準』と変更された。



武道場入口付近にはツタが茂っており外壁に巻き付いていた。
内部は比較的綺麗であったが雨漏りをしている部分や腐食している部分も見受けられた。
部室内部には一部天井が剥離し落下している部分があった。

区分	面積
運動場・その他地	22,155m ²



グラウンドは陥没箇所以外特段目立った部分はなかったが、陥没の深さは深くなっていることが確認できた。